

事務局便り 実行委員のつぶやき(叫び)～福島編

今回の研究大会の実行委員の田中絹代です。福島県では、『第42回日本感覚統合学会研究大会 in 東北』に向けて、『前哨戦』ともいえるイベントが2つ開催されました。

1つ目は10月4日、5日(土・日)に郡山健康科学専門学校を会場で開催された**入門講習会体験コース**です。遊具体験と遊びの企画を2日間にわたって学ぶ内容で、福島県内や関東方面からの総勢24名が参加しました。インストラクターの**太田篤志先生**と**新庄玉恵先生**が講師を務められ、鳥取、新潟、東京、栃木から駆けつけていただいた心強い運営スタッフの皆さんのおかげで、無事に体験コースを終了しました。太田先生の綿密に計算され、すぐに現場で使える遊びの数々、新庄先生のその場で溢れ出る遊びのアイデアを身近で見ることが出来ました。ただ、私個人としては足の小指の骨折直後(苦笑)で、実際に遊びに参加できなかったのが心残りでした。体験コースへの東北からの参加者はまだまだ少なく、ぜひ東北の皆様はこの『ワクワク・ドキドキを体験してもらいたい!!』と強く思います。

太田先生は、研究大会2日目:11月30日(日)の教育講演2「感覚統合理論を生かした実践～児童発達支援事業所編～」で児童発達支援事業所や放課後等デイサービスで明日から使えるアイデアを教えてくださいます。また、同じ研究大会2日目に体育館で遊具体験も企画しております。



2つ目は10月13日(月・祝)に福島県郡山市のビックパレットで開催された**土田玲子先生**(前日本感覚統合学会会長)の**特別研修会**です!主催は研究大会2日目:11月30日(日)の研究大会で**特別企画(遊びの会の設営、講演を含む)**を担当していただく**岡本宏二先生**が設立した「一般社団法人ふくしまをリハビリで元気にする会;あしかの学校」、共催は日本感覚統合学会社会貢献部です。

福島県内の保育士、保健師、PT/OT/ST、特別支援学校の先生方など138名の参加がありました。広い会場で静かに始まった研修会ですが、途中から土田先生の号令で座布団とマクラ50個が飛び交う様は「**圧巻**」でした。新潟県の国立犀潟療養所附属リハビリテーシ

ヨン学院（平成 15 年閉校）の教員と教え子の土田先生と岡本先生、さすがやることが桁違い！「私たち支援者がまずは様々な感覚を使った遊びを心から楽しむ」ことを体現しているお 2 人の「熱量」を、ぜひ 11 月 29、30 日に開催される**研究大会**で体感してください！

なお、非会員の方でも東北北海道エリアであれば、大会 2 日目（11 月 30 日）の 1 日参加の参加費が 3,300 円（地域価格）とお手頃価格に設定されています。また、遊びを体感したいけれど、お子様連れでないと参加が難しい方のために、託児サービスはありませんが、お子様と一緒にサブ会場での視聴や遊びの会への参加も可能となっています。特に宮城県内、また近県にお住まいの方は、日帰りでも参加できるこの機会をお見逃しなく！

詳しくは、『第 42 回日本感覚統合学会研究大会 in 東北』の HP
<https://jasi42.secand.net/> の「参加申込」「参加の皆様へ」をご確認ください。



その後



岡本宏二先生も
もちろん参戦！



土田玲子先生

